

大里 普及だより

〈〈認定農業者向け情報誌〉〉

発行 埼玉県大里農林振興センター 農業支援部
熊谷市久保島 1373-1
TEL:048-526-2210 FAX:048-526-2494
URL <http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/k15/>
E-mail k262210@pref.saitama.lg.jp



埼玉県のマスコット「コノパン」

農業法人紹介シリーズ⑦ 農事組合法人小原営農

（農）小原営農（組合長：増田富雄氏）は、熊谷市小原地域85人の組合員で組織された農業法人です。平成26年12月14日に開催された創立総会では、熊谷市長をはじめ、多くの来賓から地域の農地を守る取組のモデルとして小原営農に対する期待の祝辞をいただきました。



写真 農事組合法人小原営農創立総会（来賓・役員）

1 設立までの経緯

小原地域は大規模農家が少なく、将来だれが農地を担うか大きな課題となっていました。そこで、平成24年度から2つの機械化組合が中心となって地域を担う農業法人設立に向けて検討しました。

設立に向け、今後の経営に関するアンケート調査を実施し、その結果に基づいて、集落ごとや小原地域全体で法人設立の説明会を行いました。さらに地域内7集落から役員を募り設立準備委員会を組織して設立に向けて話し合いを重ねました。

2 今後の活動について

平成27年度は農地中間管理事業を活用して農地を借り、主穀（米・小麦・大豆）を中心に活動します。将来に向けて、畑を活用した野菜栽培、農産物加工を検討する予定です。

「組合員は、小原営農で働きましょう！組合員は、小原営農の米を食べましょう！組合員は、小原営農の味噌を作りましょう！」創立総会で組合長が力強く宣言した言葉が心に深く残りました。

受賞おめでとうございます！

第5回埼玉農業大賞地域貢献部門「優秀賞」受賞 奈良加工研究会コスモス（熊谷市）

奈良加工研究会コスモス（会長 中村千代子氏、会員数28人、以下「奈コス」）が、埼玉農業大賞地域貢献部門の優秀賞を受賞しました。

奈コスは、平成12年から熊谷市奈良地区を拠点に、食育や農業体験の講師として活躍し、受講者数は延べ1万人を超えています。この度の受賞では、これらの取組が高く評価されました。



写真 表彰式での「奈コス」の皆さん

大里地区青年農業者研究大会開催

平成27年1月15日に熊谷市の「さくらめいと」で、大里地区青年農業者研究大会が開催されました。

プロジェクト発表の部では、熊谷4Hクラブ協議会（発表者：森聡志氏）の「品切れ続出!!大人気ジュースをつくりたい（夢）」が最優秀賞、ふかや4Hクラブ（発表者：鈴木和幸氏）の『産地から「〇〇さん家（まるまるさんち）」へ 自分たちで有利販売する取組み』が優秀賞となりました。

意見発表の部では、田中拓也氏（深谷市）の「相場に流されない養鶏経営」が最優秀賞となりました。

また、小暮恵里氏（深谷市）の海外派遣研修報告と野菜ソムリエの福島玲子氏を講師に迎えた講演会（演題：野菜の魅力の伝え方）が行われました。

最優秀賞の森氏、田中氏は、2月3日に開催される県大会で大里地区の代表として発表します。

農業機械の3つのポイント（死亡事故防止・メンテナンス・盗難防止）

1 農作業に伴う死亡事故の概要

平成24年1月1日～12月31日までの1年間の農作業死亡事故は、全国で350件（表1）ありました。ここ3年やや減少傾向にあります。

事故区分で見ると、農業機械作業に係る事故が256件（73.1%）と最も多く、その内、乗用トラクタ関連の事故が106件です。また、ハウスや作業所での事故は19件（5.4%）、それ以外の事故は、75件（21.4%）で、内夏場の高温による「熱中症」が21件も発生しています。

お陰さまで、平成24年、埼玉県内では農作業死亡事故は発生しておりません。今後も十分気をつけて農作業に従事してください。

表1 平成24年農作業死亡事故件数

区分	死亡件数	同左比率
農業機械関連	256件	73.1%
農業施設関連	19件	5.4%
それ以外	75件	21.4%
計	350件	100.0%

2 春の農作業前の農機メンテナンス

農作業事故で最も多い乗用トラクタの死亡事故は106件発生しており、作業中の注意はもちろんですが、日頃のメンテナンスが重要です。

ここでは、農業機械のメンテナンスのポイントについて説明します。

(1) 納屋・格納庫の整理整頓

農業機械や作業機・資材はどのように格納されていますか？

- ・作業機はキャスター付きの台車に載せる。
- ・小さくて軽い資材や部品類は棚に載せる。
- ・通路部分にペンキやテープで印をつける。
- ・春作業に使う農機具を出入口付近に並べる。
- ・取扱説明書を棚に置き、点検整備をする。

(2) バッテリーのメンテナンス

バッテリー液の量と比重を確認し、補充や充電をします。この時、電極が露出し、変質しているものはバッテリーの交換をしてください。

不備のまま充電すると爆発の危険があります。

(3) エンジンオイル等の交換

エンジンオイルや部品の交換を行い、整備記録をつけておきましょう。

廃油の処分は廃油処理業者へ、また、バッテリー等の有害物を処分する時は、購入先や産業廃棄物処理業者に依頼してください。

(4) 農業機械別の点検整備

トラクタ、田植え機、コンバインなどは、始業・終業点検と整備を必ずしましょう。

必要に応じて、農機メーカーのメンテナンスを早めに受けるのも得策です。



3 農業機械の盗難が多発

全国的に農業機械の盗難事件が多発しています。

埼玉県でも、平成25年に25件、平成26年8月までに36件の警察への届け出があり、発生時期は2月から6月に集中していました。

特に、熊谷市は15件と多く、深谷市が6件、寄居町が1件でした。

不幸にして盗難にあった場合は、警察に通報するとともに、購入した農機メーカーにも必ず連絡してください。

日本農業機械化協会が中心になり、農業機械の盗難情報を機械メーカーと行政・警察が共有し、盗難事件の解決に貢献しています。

○ あなたのトラクタが狙われています！

昨年12月31日に茨城県でトラクタとライムソウワの盗難が発生、しばらく関西地域で活動していた窃盗団がついに関東地域にやってきました。

盗難には、十分注意を払い、春の農作業に臨みましょう。

小麦「さとのそら」 今後の管理について

平成27年産小麦は、出芽、苗立ちが良く順調に生育しています。

平成27年1月23日発表の気象庁の3か月予報では、2月から4月の平均気温、降水量は、ほぼ平年並の見込みとなっています。

今後も麦の生育状況を確認しながら、適期管理を行い、多収・高品質の麦生産を目指しましょう。

1 追肥

小麦は、生育後半に窒素吸収量が増加するため、追肥を行わないと多収は望めません。必ず追肥を行ってください。

① 11月適期には種し、基肥に化成肥料を基準（窒素成分8kg/10a）どおり使用した場合

基本としては、「3月上旬」と「3月下旬から4月上旬」の2回に分けて10a当たり窒素成分で2kgずつ施用します。

1回で追肥を済ます場合は、3月上中旬に10a当たり窒素成分で3～4kg施用します（表1）。その際、化成肥料ではなく、石灰窒素を含む「けやきハイパワー」を施用すると、出穂期以降も窒素の肥効が持続し、穂数の確保とともにタンパク質含量が高まります。

表1 「さとのそら」追肥例

	時 期	肥料種類	施用量 (Nkg/10a)
追肥2回 の場合	1回目:3月上旬	化成肥料	2
	2回目:3月下旬 ～4月上旬	化成肥料	2
追肥1回 の場合	3月上旬	けやきハイパワー	3～4

② 12月に入っては種した場合

追肥は4月上旬に10a当たり窒素成分で2kg施用します。

表2 茎葉処理剤防除例

主な優占雑草名	除草剤	使用時期	使用回数
カラスノエンドウ	アクチノール乳剤	穂ばらみ期まで(雑草生育初期)	2回以内
	バサグラン液剤	小麦の生育期(雑草の3～6葉期)(但し、収穫45日前まで)	1回
ヤエムグラ	エコパートフロアブル	小麦節間伸長開始期まで(広葉雑草2～4葉期、ヤエムグラ2～6節期)(但し、収穫45日前まで)	2回以内
スズメノテッポウ	ハーモニー75DF水和剤	は種後～節間伸長前(但し、スズメノテッポウ5葉期まで)	1回

※ 記載農薬は平成27年1月22日現在の登録状況に基づいています。

2 排水対策

冬は降水量が少ない季節ですが、昨年の大雪などのように1日に多量の雨や雪が降ることもあります。多量の雨や雪で湿害を受けると、生育不良となり、収量・品質に大きく影響するので、冬でも油断せずに排水対策をしっかりと行いましょう。

溝掘り機等を使用し、ほ場周囲とほ場内10m程度の間隔で明きよを作り、外部の排水路と連結し、地表面の排水を図ります。

3 麦ふみ

凍害を防ぎ、根張りを良くし、しっかり生育させるため、麦ふみは必ず行います。

2葉期となったら1回、その後2週間以上の間隔をあけて茎立ち前までに3回以上行います。

「さとのそら」は「農林61号」に比べ、茎立ち期の予測が難しいので、麦の生育をよく観察しながら麦ふみをしてください。

4 雑草対策

現在のところ、雑草の発生は少ない状況ですが、収量を確保し、高品質な麦を生産するためには防除が必要です。麦のは種後、雑草の発生が認められる場合は、茎葉処理剤の散布を行ってください。

麦の生育状況とほ場の優占雑草を確認し、適切な薬剤を選択し、散布時期が遅れないよう防除しましょう（表2）。

今からでも間に合う、ズッキーニ栽培

ズッキーニは、近年知名度が上がってきたウリ科カボチャ属の野菜です。ズッキーニは、側枝が伸びず管理作業が簡単で、獣害を受けにくいことから、全国で約300ha栽培されています。は種から収穫までの期間は短く、3月は種で、5月からの収穫を狙うことができます。抑制作型までのハウスの有効利用や新規品目としての市場出荷、直売所の彩りに最適な品目なので、次の栽培方法を参考に、挑戦してみたいかがでしょうか。

1 畑の準備

畑は日当たりが良く、排水性の良いほ場を選びます。表1、図1を目安に施肥、畝立て、マルチ敷きをします。トンネルを設置する場合は、定植の1週間前までに設置を終えて地温を確保します。風による擦り傷は品質を低下させます。露地で風が強いほ場では、ビニールや不織布資材のトンネルを設置する等の対策を行います。収穫最盛期は露地栽培で4～6週間程度と短いので、長期安定収穫を狙うには、は種時期を少しずつずらし、計画的に栽培します。

表1 施肥例

	成分量(kg/10a)		
	N	P	K
堆肥(2t)			
基肥	15	20	15
追肥(1回当たり)	3	3	3

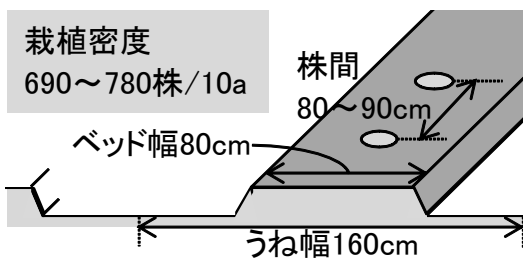


図1 うねの作り方

2 は種・育苗

発芽適温は25～30℃です。温床を利用すると2、3日で発芽し、苗の揃いが良くなります。育苗箱からポットへ移植する時期は、子葉が土から出芽し、開き始めた頃です。育苗期間の最高気温は25℃、夜の地温は20℃から徐々に設定温度を下げ、定植までに順化させます。

3 定植

初期の生育が収量に直結するため、ポット育苗の場合は、若苗定植を徹底し、草勢を強く管理します。定植適期は、根が鉢に全体の5～8割回った頃です。

ポットを定植した後は、必ず根鉢の周りにかん水を行い、順調な活着を促します。



写真1、2 左が定植適期。右のように根が上まで周ってからの植えると初期生育が遅れる。

4 仕立て方

定植時期により、側枝が発生する事があります。側枝を残しておくと収量が低下するだけでなく、株の風通しが悪くなるので早めに除去します。

栽培中期に、支柱やマイカ一線等を使用し、主枝を地面から浮かせておくと果皮の色むらの防止になります。

5 交配

施設内や露地の春先に訪花昆虫が飛んでいない時は、手で交配します。花の寿命は短いので、当日開花した花同士で交配しましょう。高温期は花が萎れる10時頃までに交配すると、着果が安定し、作業が楽にできます。

複数品種を同時期に栽培したり、あえて老化苗を数株作ると初期の花粉不足を補うのに役立ちます。



写真3 収穫初期の株。葉は大きく、つやがある

6 追肥

第1果の収穫1週間後頃から、定期的な追肥を行い、草勢を維持します。追肥は穴肥や液肥の灌注等でマルチ内に施用します。

果実の尻太りや花の小型化、蕾の変形等は、草勢が弱い証拠ですので、症状が見られたら早めに追肥を行きましょう。

7 収穫・調製

果実長15～23cmで収穫します。高温期では肥大が早いので、収穫遅れに注意します。果皮は傷つきやすいので、丁寧に収穫し、切り口を乾かします。その後、表面を柔らかい布等で拭くと光沢が出ます。

8 摘葉

摘葉を行うと風通しが良くなり、病気の抑制に効果があります。着果節位の下3節までの葉を残し、他は切り落とします（図2）。ただし一度に大量の摘葉は避けます。



図2 摘葉の方法（×印の葉を切り落とす）

9 病虫害防除

ウイルス（モザイク）病

各種ウイルス病（CMV、WMV、ZYMV）が発生すると、生育の遅延、果実に斑点や奇形が生じ、収量・品質が大幅に低下するため注意します（写真4）。

アブラムシ類が媒介するほか、管理作業による汁液伝染により被害が拡大します。対策として①ウイルス耐病性品種の利用②定植時の粒剤施用③被覆資材の利用④生育期の適期防除を実施し、症状が認められた株は、ほ場外に処分しましょう。

参考：栽培時期の目安

作型	3月			4月			5月			6月			7月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
ハウス無加温	○		△												
露地トンネル	○		△												
露地マルチ					○		△								

凡例：○は種期 △定植期 □収穫期 ◡ハウス ◢トンネル
※9cmポット育苗の目安



写真4 ウイルス発病株の果実は変形する

うどんこ病

株の軟弱徒長や成り疲れによって発生が助長されます。早期防除を心がけ、発生の拡大を抑えます。

株が充実してくると、葉の表面に白みを帯びた模様が出てきますが、病気ではありません（写真5）。



写真5 生育が進むと葉に模様が出てくる

10 出荷規格と品種選択

ズッキーニの果形と果皮色は品種によって様々ですが、緑色の円筒形が主流です。一般的な出荷規格は果実長15～23cm、2kg 箱詰で、円筒形で果皮色の濃く、つやのあるものが良いとされています。収量性や耐病性、品質のバランスを考えて品種を選択しましょう。10aの目標収量は1,400kg程度です。

表2 主要品種とウイルス耐病性

品種名	果皮色	ウイルス耐病性
グリーンボート2号	緑	WMV、ZYMV
コンテ	緑	WMV、ZYMV
ゼルダ・ネロ	緑	CMV、WMV、ZYMV
ダイナー	緑	-
ラベン	緑	-
イエローボート	黄	ZYMV
オーラム	黄	-

花きの振興に関する法律が施行となりました！



平成26年6月、第186回通常国会において花き産業と花きの文化の振興を目的とした「花きの振興に関する法律」（平成26年法律第102号。以下「花き振興法」という。）が成立し、平成26年12月1日に施行されました。

この法律は、花きの生産者の経営の安定、花きの加工及び流通の高度化、花きの輸出の促進、公共施設及びまちづくりにおける花きの活用等の措置を講じ、もって花き産業の健全な発展と心豊かな国民生活の実現に寄与することを目的としています。

○ 花き振興法とは

1 「基本方針等」(第3条～5条)

国は、既存の「花き産業振興方針」に変わり、「基本方針」を制定することとなっています。

また、都道府県でも花きの地域協議会などを活用して「振興計画」を策定するよう努めることとされました。

さらに、関係機関の連携を強化することも規定されています。

2 「国及び地方公共団体の施策」(第6条～第20条)

花きの振興のために、国や地方公共団体などが取り組むべき事項が示されています。

特に、知財分野において、一定の要件はありますが種苗法に基づく品種登録にかかる出願料と登録料の減免措置を講ずることが示されています。

農林水産省「花きの振興に関する法律のあらまし」より抜粋

http://www.maff.go.jp/j/seisan/kaki/flower/pdf/20141201_aramashi.pdf

表 花きの振興に関する法律の概要

法律の概要

目的

花き産業の健全な発展と心豊かな国民生活の実現（1条）

定義

「花き」：観賞の用に供される植物（2条1項）

「花き産業」：花きの生産、流通、販売又は新品种の育成の事業（2条2項）

基本方針等

- 農林水産大臣は、花き産業及び花き文化の振興に関する基本方針を策定（3条）
- 都道府県は、花き産業及び花き文化の振興に関する計画を策定（4条）
- 国、地方公共団体、事業者、研究機関等の連携の強化（5条）

国及び地方公共団体の施策

【花き産業に対する施策】

- 生産者の経営の安定（6条）
- 生産性及び品質の向上の促進（7条）
- 加工及び流通の高度化（8条）
- 鮮度保持の重要性への留意（9条）
- 輸出の促進（10条）
- 種苗法の特例（13条）
- 研究開発の推進（15条）

【花き文化に対する施策】

- 公共施設における花きの活用の推進等（16条1項）
- いわゆる「花育」の推進（16条2項）
- 日常生活における花きの活用の推進等（16条3項）

【その他の施策】

- 博覧会の開催等（17条）
- 花き産業及び花き文化の振興に寄与した者の顕彰（18条）
- 振興計画の円滑な実施に向けた国の援助（19条）
- 花き活用推進会議の設置（20条）

お問い合わせ

農業支援課 農業革新支援担当
電話048-536-6034

飼料用稲を利用してみませんか

生産調整水田の有効利用や高騰する輸入飼料の代替として、飼料用稲の生産・利用が注目されています。

1 飼料用稲とは

収穫した米を濃厚飼料として与える「飼料用米」と、茎葉を含めた株全体を収穫後、サイレージに加工して牛に与える「イネWCS（ホールクロップサイレージ：稲発酵粗飼料）」に大別できます。

また、飼料米の稲わらは、牛向けの粗飼料として有効利用も図れます（図1）。

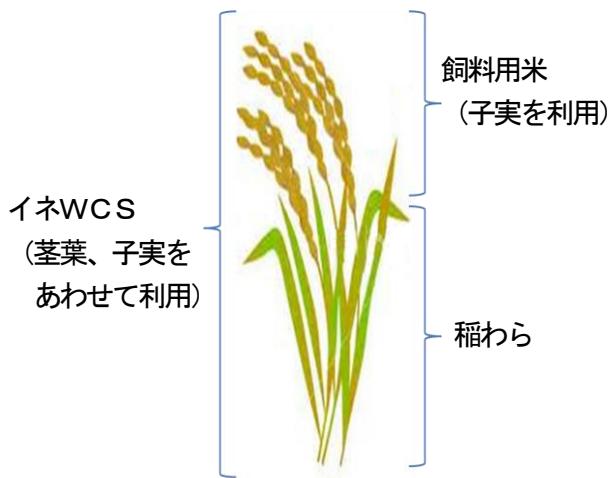


図1：飼料用稲の利用部位

2 飼料用米

飼料用米は食用米と同様、コンバインで収穫し乾燥貯蔵されます。

玄米の飼料成分はトウモロコシと同等ですので、トウモロコシの代替として利用できます。なお、飼料成分は低くなりますが、粳米のままの利用も可能です。

<畜種別 給与のポイント>

鶏には筋胃（砂のう）があるため、粳米、玄米ともに丸粒のまま給与が可能です。しかし、飼料用米は黄色色素が少ないため、多給すると卵黄色が薄くなります。

豚や牛に給与する場合は、丸粒のまま与えると、かなりの部分が未消化となるため、2mm程度に破碎するなどの加工処理が必要となります（図2）。

豚へ飼料用米を多給することで、皮下脂肪中のオレイン酸割合が高くなり、リノール酸割合が低くなることで、肉質が向上すると言われています。

残念ながら、この効果は豚のみで肉用牛への効果は一定しません。

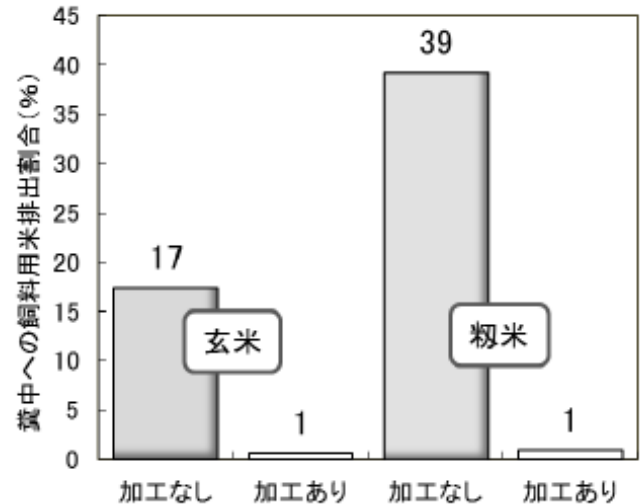


図2：豚・牛の飼料用米の加工の有無とふん中への飼料用米排出割合の関係

（出典：「飼料用米の生産・給与技術マニュアル」）

3 イネWCS

イネWCSは糊熟期～黄熟期に茎葉ごと収穫し、サイレージ化したもので、乾牧草の代替として利用できます。

収穫は、専用収穫機を利用する方法と、従来の牧草収穫の作業体系で収穫する方法があります。子実が成熟してからの収穫では、粳が消化されず栄養分のロスが大きくなりますので、イネWCSでは、適期収穫が重要となります。

近年では、茎葉が多収で、粳の割合が低く、消化性の高い品種も育成されています。大里地域でも、栽培の現地実証を行っており、良好な成績となっています。

昨年の米価の下落もあり、主穀農家の飼料用稲の作付けについての関心が高まっていますが、飼料用稲の生産・利用に当たっては、流通や保管等の課題が多いのが実情です。通常の購入飼料のように簡単に購入・利用という訳にはいきません。利用を検討されている方は、農業革新支援担当までご相談ください。

お問い合わせ

農業支援課 農業革新支援担当
電話048-536-6034

2人が青年農業経営士に認定

平成26年11月19日、さいたま商工会議所会館で平成26年度埼玉県農業・農村リーダー認定証交付式が開催され、熊谷市弥藤吾の森真之氏（露地野菜複合経営）、深谷市戸森の岡田直樹氏（施設野菜複合経営）の2人が青年農業経営士に認定されました。

今後、2人には地域で青年農業者のリーダーとしての活躍が期待されます。



左写真 森 真之氏 右写真 岡田直樹氏

農薬の短期暴露評価の導入により変更される農薬使用方法について

農薬の登録に当たっては、これまで、残留農薬の摂取量について一日摂取許容量（以下「ADI」という。）を超えなければ食品安全上問題ないものと判断されてきていましたが、新たに、急性参照用量（以下「ARfD」という。）を超えないかという点についても評価（以下「短期暴露評価」という。）されることになりました。

ARfDとは、ヒトが24時間又はそれより短い時間に経口摂取した場合に健康に悪影響を示さないと推定される1日当たりの摂取量です。

今後は、登録されている農薬についても順次ARfDの設定を受け短期暴露評価が実施されていくこととなります。

その際、一度に多量に食べた場合の残留農薬の推定摂取量がARfDを超える農作物があれば、当該農薬については使用方法が変更されるとともに、残留農薬基準値が見直されることとなります。

農林水産省では、十分な時間的猶予をもって変更できない場合には、農薬販売者、使用者に対して、変更後の使用方法を記載したチラシ等を用いて、情報を提供するとともに、変更後の使用方法に基づいて農薬を使用するよう注意喚起を要請しています。

短期暴露評価により、農薬の登録内容が変更された場合は、容器に表示された使用方法ではなく、変更後の使用方法に基づいて農薬を使用することに

なります。ラベルに記載されていても使用できないケースが出てきますので、チラシ、HP等で最新の農薬登録情報の確認をお願いします。

なお、平成26年12月19日現在、ARfD関係で登録内容の変更がなされた（なされる）農薬は、別添表1のとおりです。商品のラベルと登録内容が変わった（変わる予定である）ため注意してください。

若い農業者組織紹介(シリーズ③) 寄居町4Hクラブ

寄居町4Hクラブは、寄居町の農業を振興するという目的から町在住の農業者だけでなく、町で農業を行っている農業者も加入する青年農業者組織です。

現在の会員数は7人で、会員の経営類型が植木生産や造園が主体であることが特徴です。



写真 装飾坪庭展示の前にて

平成25年に開催された「育樹祭」では、開催を盛り上げるため役場ロビーに、会員の得意分野である装飾坪庭展示を行い大変好評でした。毎年11月に開催される町の産業文化祭でも坪庭展示を行うなど、独自の活動を展開しています。

今後は他の組織との交流をとおして情報交換し、知見を深めていきたいとのことです。

雪害からの復興に向けて きゅうり栽培技術研修会を開催

ふかや園芸協会、JAふかや、大里農林振興センターは、1月29日、きゅうり栽培技術研修会を開催しました。講師に元埼玉県農林総合研究センター園芸支所長の稲山光男氏を迎え「いかにしてキュウリの省力・多収安定生産を達成するか」と題した講演と、大里農林振興センターから「ウイルス病を媒介する害虫の発生状況と対策」の情報提供を行いました。

当日は約90人が参加し、今後の生産に向け基本的な技術を確認する良い機会となりました。